

北朝鮮の核実験に対する抗議文 (北朝鮮の核実験に抗議する声明)

目黒区は、1985年5月3日に地球のすべての人々とともに永遠の平和を築くよう努力するとの願いをこめて「目黒区平和都市宣言」を行い、平和の尊さ核兵器の恐ろしさを訴え続けてまいりました。

広島、長崎に原爆が投下され60余年が経ちましたが、この原爆投下により30万人を超える人々が亡くなり、今でも多くの人々がその後遺症に苦しんでいます。

人類が二度とこのような悲惨な経験をしないように、核兵器を廃絶し、恒久平和を築くことは、唯一の被爆国である日本国民の悲願であります。

このような中、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)は、10月9日に核実験を実施したと発表しました。

核兵器の開発を目的とした核実験は、核兵器廃絶を願う国際世論に反し、地球のすべての人々の核兵器廃絶の願いと恒久平和の実現を脅かすものであり、決して容認できるものではありません。

ここに、私たち目黒区民は、恒久平和の実現を願い北朝鮮が今後一切の核実験を中止し、核兵器を廃絶することを強く求めるとともに、今回の核実験に対し厳重に抗議します。

2006年10月24日

目黒区長 青木英二